

所属	人間社会学部・公共社会学科	職名	准教授	氏名	岡本 雅享
----	---------------	----	-----	----	-------

1. 教員紹介・主な研究分野

1997年横浜市立大学大学院国際文化研究科修士課程修了。2000年一橋大学大学院社会学研究科博士課程修了。国際学修士。社会学博士。1991～93年、中国の北京師範学院（現在、首都師範大学）、中央民族大学民族語言三系（現在、中央民族大学少数民族語言学院）に留学、少数民族二言語教育の研究・調査を行う。2008年度、San Francisco State University (College of Ethnic Studies, Japanese American Studies)でVisiting Scholar。学内外で”Hidden Diversity of the Japanese People”に関する講演等を行う。

1989年以来、在日韓国・朝鮮人問題を起点とし、マイノリティの権利保障のための研究・活動に従事してきた。国連ECOSOC NGOでの3年間の勤務を含め、ジュネーブ国連欧州本部を中心とした国連人権活動に報告・提言の提出、会議への参加・発言等を通じて参加。

現在は、日本社会がますます多民族、多文化化する中で、あらためて明治以降の日本におけるNationの創造、混合民族論から単一民族論への変遷など、民族、言語、宗教、文化の各方面から、日本人（国籍者）内部の多様性を解き明かす作業を、出身地である出雲の視点から、試みている。

2. 研究業績

①著書・論文（2013～2015年度）

<著書>

- ・『レイシズムと外国人嫌悪』（共著）明石書店、2013年
- ・『なぜ、いまヘイト・スピーチなのか』（共著）三一書房、2013年
- ・『民族の創出』（単著）岩波書店、2014年

<論文>

- ・「海の道のフロンティアとしての出雲」『現代思想』41巻16号、2013年
- ・「多元社会日本」別冊環20『なぜ今、移民問題か』藤原書店、2014年
- ・「日本の民族認同一從「出雲民族」案例看多元民族國家觀的建構」『民族学』第36期、2015年

②その他の業績（2013～2015年度）

- ・新聞連載「出雲を原郷とする人たち」『山陰中央新報』2011年4月～2016年1月（全104回）紀伊編3回、越後佐渡編20回、信濃国編8回、武蔵国編5回、岩代国編6回、上野国編2回、大和国編8回、山城国編2回、丹波国編1回、播磨国編1回、壱岐・新羅国編1回
- ・書評『琉球諸語の復興』（沖縄大学地域研究所編）『週間読書人』2013年11月22日
- ・書評『日本型排外主義』（樋口直人著）『大原社会問題研究所雑誌』675号、2015年1月
- ・週刊誌「神話と日本の民族意識」『週刊金曜日』23巻5号、2015年2月6日
- ・招聘報告「出雲からみた日本のネーションビルディング」関西学院大学先端社会学研究所定期研究会、2013年11月29日

③過去の主要業績（2013年度以前、3点）

- ・『中国の少数民族教育と言語政策（増補改定版）』社会評論社、2008年（単著）。
- ・『日本の民族差別一人種差別撤廃条約からみた課題』明石書店、2005年（監修・編著）。
- ・「中国のマイノリティ政策と国際規準」叢書「現代中国の構造変動」第7巻・毛里和子編著『中華世界——アイデンティティの再編』東京大学出版社、2001年。

3. 外部研究資金（今年度）

4. 受賞（今年度）

5. 所属学会（今年度）

・日本平和学会、エミシ学会

6. 担当授業科目（今年度）

国際政治学・2単位・1年・前期、多文化社会論・2単位・2年・前期、東アジア関係史・2単位・2年・後期、政治学Ⅰ・2単位・2年・前期、政治学Ⅱ・2単位・2年・後期、国際共生研究・4単位・2年・通年、公共社会学研究・4単位・3年・通年、卒論指導・4単位・4年・通年

7. 社会貢献活動（今年度）

8. 学外講義・講演（今年度）

・筑豊市民大学「記紀神話と出雲神話—そして筑前との縁」2016年2月14日、福岡県田川市

9. 附属研究所の活動等（今年度）